

歴史の散歩道

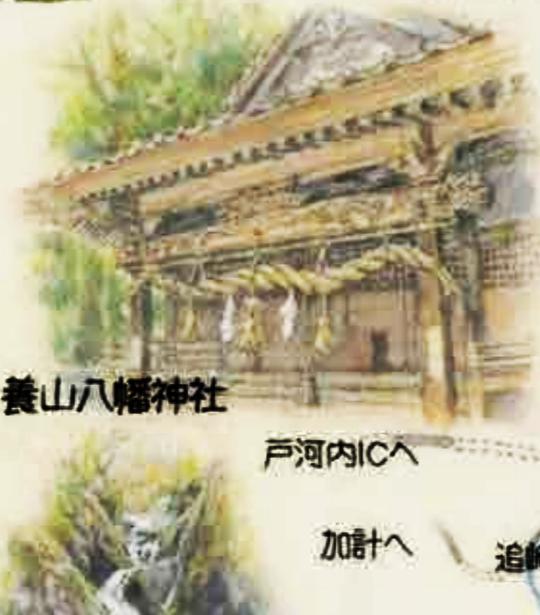
いっぺんおいでえ

広島安佐

絵 松尾英司



秋 養山八幡宮の
吹囃子行事
(安佐町小河内)

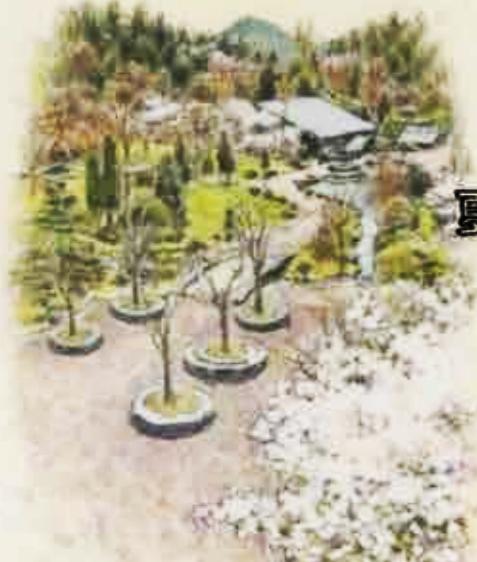


⑨ 養山八幡神社

宇賀峠
唐音 笹丸山

⑧ 宇賀ダム

夏 太田川の鮎つり



⑦ 花みどり公園
三国ふれあいの里



豊平へ

安佐グリーンランド

錦張

千代田JCTへ
片廻山
682
261
中国自動車道

豊平町今吉田へ

⑨ 養山八幡神社

冬 牛頭山からの雲海

滝山
692.7
小河内小学校
小河内局

広島市青少年センター
① こども村

小河内

牛頭山登山口
548.9
牛頭山
672.6
平トンネル
牛頭山トンネル
中国自動車道

鈴張局
鈴張小学校
星が丘ニュータウン
広島北JCT
廣島北工業団地
森城団地
火の見山
504.0
広島北IC
JA広島市安佐支店
飯室小学校
飯室局
清和中学校
安佐北消防署
区役所安佐出張所
広島安佐商工会安佐支所
野冠橋
572.8
本串山
573.0
宇賀橋
野間平発電所
大川橋
吉川
久地
尻高山
4556.7
高八山
429.7
くすの木台
久地南小学校
戸山へ
戸山へ
久地島
花みどり公園
三国ふれあいの里
南ヶ丘団地
久地PA
安佐動物公園 ⑥
瀬戸内ニューハイツ
広島JCTへ
沼田へ

④ 筒瀬
あきあがり観音
森山
434
ふじビレッジ
可部へ
幕ノ内トンネル
水越山
526.0
太田川
共栄橋
権現山
445.5
日浦中学校
日浦小学校
日浦局
安佐動物公園 ⑥
瀬戸内ニューハイツ
広島JCTへ
沼田へ

堂床山
859.6

③ 宮野八幡神社

春 安佐動物公園前
通りの桜並木
③ 宮野八幡神社
筒瀬あきあがり観音

⑤ 筒瀬八幡神社

④

筒瀬
東野平
筒瀬
押上山
321.4
筒瀬小学校
広島安佐ゴルフクラブ

安へ
453.0
グリーンハイツ

① 広島市青少年センター
こども村 牧場

② 静楽園
毛木觀音



⑤

筒瀬八幡神社
安佐北大橋

⑥

⑥ 安佐動物公園

安佐町の概要

安佐北区安佐町は、広島市の中心部より北北西17km（直線距離）で県の西北部に位置し、飯室・鈴張・久地・小河内・日浦の5地区からなり、昭和46年に広島市と合併、昭和55年政令指定都市になり現在の広島市安佐北区安佐町となった。

東西11.5km、南北13kmで東に安佐北区可部、北に山県郡北広島町、西は山県郡安芸太田町、南は安佐南区安古市、沼田に接する面積約108km²の地域である。

土地はきわめて急峻で、859.6mの堂床山を最高峰として500m以上の山が10以上もあり、これらの山々が北北東から南南西方向へ三列に連なり、太田川が北西から東南に貫流して町内を大きく分断している。

1. 広島市青少年センター こども村

小河内・牛頭山麓、自然環境の中で集団生活を通じて心身共に健全な青少年の育成を図ることを目的とした広島市青少年野外活動センターがあります。宿泊棟、ロッジ、キャンプ場、研修センター、体育館等の施設を整備。

また、こどもに農業と自然に親しむ機会を与えて、子どもの農業と農村に関する理解を深めるとともに、情操を豊かにすることにより、子どもの健全な成長に寄与することを目的にこども村が設置。

学校の野外活動をはじめ、家族や子供会などの団体の野外レクリエーションに利用できます。オリエンテーリングやディスクゴルフの他にも炊飯したり、牛舎見学や羊などの動物と触れ合うことができます。

広島市青少年野外活動センター Tel 082-835-1444

2. 静楽園 毛木観音

飯室毛木の高台・吉田裕信門跡に観音像を祀り、公園「静楽園」として整備。
平成7年12月20日 京都、仁和寺大僧正をお迎えし、開眼法要が行われ建立された。

3. 宮野八幡神社

共栄橋から太田川に沿った所にある。境内には県内屈指のエノキの巨木（天然記念物）がある。

4. 筒瀬 おきあがり観音

自然石の観音さまが水底に眠っている・・・。江戸時代からそんな伝説があった。
平成3年、観音さまに似た石が太田川の川底より引き揚げられ開眼法要され祀られている。

5. 筒瀬八幡神社

文化財に指定されており、うっそうとした社に包まれた神社。社叢にはタブノキ、ナナメノキ、アラカシ、ヤブツバキなどの常緑広葉樹が生い茂り、ケヤキ、エノキなど落葉広葉樹も見られる。

6. 安佐動物公園

安佐町後山に広がる広大な自然動物公園。園内にはキリン、アフリカゾウ、レッサーパンダ、トラなどの人気動物がいっぱい！ガラス越しにライオンを観察できる「レオガラス」や、「チータービュー」、「キリンテラス」など間近で動物を観察できる施設も充実。人気スポットぴーちくパークではヤギやヒツジ、テンジクネズミなどの動物と直接触れ合える。夏の「納涼ナイト☆サファリ」などのイベントも楽しみ。

また、絶滅の危機に瀕した野生動物の種の保存のために、他の動物園とも協力しながら繁殖に力を入れて取り組んでおり、オオサンショウウオやクロサイ、シマウマなどは全国有数の繁殖実績を誇ります。

広島市安佐動物公園 Tel 082-838-1111

7・花みどり公園 三国ふれあいの里

花みどり公園は、昭和30年代後半から安佐町を「花木の町」としての産地作りと「緑と詩の村」としての自然休養村づくりを行ってきました。そうしたことから、「花みどり公園」は、前身である「広島市園芸指導所安佐分場」の時代から「花木に関する試験研究機関」と「自然休養村管理事務所」としての機能を併せ持っております。

「花木の女王」といわれるほど美しいシャクナゲ。西日本有数のシャクナゲ園があります。展示温室では、珍しいマレーシアシャクナゲをご覧頂けます。グランドゴルフ場もあります。のんびりと緑あふれる園内を散策して下さい。

広島市農林業振興センター花みどり公園 Tel 082-837-1247

J A 広島市花みどり公園 Tel 082-837-0572・三国グリーンセンター Tel 082-837-0223

8. 宇賀ダム

四季折々の自然に囲まれ、絶好のハイキングコースである。山菜、薬草なども豊富で、虫も飛び交う。キャンプ地にも適している。都会の喧騒から離れ、せせらぎの音を聞きながら森林浴を・・・。

9. 養山八幡神社（小河内）

文化財に指定されており、社叢にはツクバネガシ、ヤブツバキ、カヤが生い茂っており、広島市指定の天然記念物である。

吹き囃子(ばやし)行事（小河内・養山八幡宮）

吹き囃子行事は、文化8年（1811年）に購入した神輿を神社に迎え入れる際、村人が太鼓の囃子などで盛大にお祝いの行列を行ったのが始まりとも伝えられる。獅子・鼻高（天狗）・屋台船・囃子台（傘台）・神輿などで構成される行列が、太鼓や笛の囃子に合わせ参道などを練り歩く。吹き囃子行事は、文化8年以来、中断されたことが無く、平成9年に「広島市指定重要無形文化財」に指定されている。

毎年11月第1日曜日に秋季大祭が行われます。その大祭で奉納される。

広島安佐商工会

商工会は「商工会法」に基づいて県知事の認可によって設置された認可法人です。広島安佐商工会は、安佐北区の安佐町商工会と可部町商工会、安佐南区の佐東町商工会の3町商工会が合併して平成19年4月に設立した地域経済団体です。

管内で事業を営む方の経営支援・相談相手として、経営指導員が配置されています。

広島安佐商工会 <http://www.h-asa.jp/>

可部本所：安佐北区可部3-26-22 Tel 082-814-3169 fax 082-815-1456

佐東支所：安佐南区緑井6-29-28 Tel 082-877-9352 fax 082-877-0844

安佐支所：安佐北区安佐町飯室3059-1 Tel 082-835-0048 fax 082-835-2133

広島安佐商工会
平成27年3月謹製

歴史の散歩道

いっぺんおいでえ
広島安佐



1. 可部の折り目

道が直角に2回折り曲げられている、独特の形状をした箇所です。

この「折り目」の謂れは、参勤交代の際、民衆は大名行列が見えなくなるまで土下座をしなければならず、その時間を短くするために道を鍵状に作ったという説と、可部町内が大火に遭ったため、その後の火事による延焼を少なくする目的でこのような道にしたという、2つの説があります。

可部旧道の古い家の2階軒下を見ると「卯建（うだち）」といわれる防火避けが施されているのが特徴です。

2. 広島安佐商工会

安佐北区の可部町商工会と安佐町商工会、安佐南区の佐東町商工会の3町商工会が合併して平成19年4月に設立した経済団体です。

管内で事業を営む方の相談相手として、経営指導員が配置されています。

3. 勝圓寺・大えい和上の墓

開基は不明ですが大同(806~)年間といわれています。真宗の三大法難の1つに数えられる「三業惑乱」の際、宗祖親鸞以来の「一心帰命説」を唱え、ついに法難を退け、真宗の教義を守り通した一世の学僧「大えい和上」は勝圓寺の住職でした。この和上の墓と明治初期、広島藩の「にせ金事件」に連座し、自訴の後獄死したともいわれる南原屋木坂文左衛門の墓など由緒深いものが境内にあります。

4. 石造りの台座

日露戦争の凱旋記念碑として建てられ、その後火災時の警鐘台として利用されました。

ここには、「ゑびす神社」もあり、毎年11月下旬に「ゑびす講祭」が開催されています。

5. ガラスの里

紀元前15世紀に作られた古代ガラス等、ガラスの歴史を知ることができる貴重な資料（実物のガラス製品）を約100点展示しています。古代人の作ったガラスはその暮らしを垣間見るように気分にさせてくれます。第2展示室には江戸末期から昭和にかけて、生活の中で活用されたガラスを約100点展示しています。他にも吹きガラス、ステンドグラス、七宝焼、トンボ玉などの手作り体験できる工房・教室などがあり、各種ガラス手工芸が楽しめる可部の新名所です。

6. 土居屋敷跡

根の谷川左岸、高松山の西麓にあって、正面(西側)と北側の一部に築地の石垣が残っています。三入庄の地頭熊谷信直、高直、元直の屋敷跡と伝えられていますが、熊谷氏の高松城進出と密接な関係をもって成立したと考えられます。『芸藩通志』は「熊谷氏宅址」とし、「今に石垣1町余あり、宅の跡は畠となり、一堂宇あり」と記載されていますが、堂宇は失われています。石垣は菩提所の観音寺跡のものに比べ、やや石材が小さく技術も劣っていますが、同時代の作と考えられています。史跡「熊谷氏の遺跡」の一部に含まれます。

7. 観音寺跡

土居屋敷跡の根谷川対岸、雲石路沿いの山麓にあります。三入庄の地頭熊谷氏の菩提寺で、高さ1丈、長さ60間に及ぶ石垣がその遺構。境内の大部分は畠地になっています。観音堂一宇が残っており、内部には如意輪觀

音像と熊谷氏の定紋を刻んだ室町時代の須弥壇があります。この堂の裏(西)側には湧水池、南側に40数基の五輪塔と宝篋印塔があり、熊谷氏の墓地です。県指定史跡「熊谷氏の遺跡」の一部に含まれます。

8. 高松山の大文字

高松山は別名、愛宕山ともいいます。根の谷川の東に位置し、標高は338.5m。頂上には中世の頃、熊谷直時の居城、高松城跡が残っています。毎年5月の最終土曜日と日曜日には、高松山の中腹に数十個の提灯で『大』の字を作り、可部の初夏を彩ります。

9. 寺山公園

「寺山」が造成により整備され、憩の場として家族連れに人気があり、可部の街も眺望できます。

近くには『山まゆ』の飼育場も建設されています。

隣接して、県立可部高等学校も移転しました。

10. 旭鳳酒造

「旭鳳」のブランドで人気の酒造会社です。

創業は1865(慶応元年)。ベンガラ格子の店構えは昔の趣をそのまま残し、歴史を感じさせます。

11. 鉄灯籠かなどうろう(広島市重要文化財)

1808(文化5)年可部の鋳物師、三宅惣左衛門延政によって製作された高さ3.13m、基礎周囲5.65mの鉄の灯籠。大きさもさることながら全体の調和がとれ、細部の技巧も優れており、可部町の鋳物業の歴史を物語る遺物です。鉄灯籠のある「下の浜遊園地」は、太田川の川舟交通の船着き場の跡で、その入り口に建てられています。

12. 千代の松

樹高9m、胸高幹周2.65mのクロマツで枝張りは東西17m、南北11mにも及んでいます。その形は、猿の手に見立てて人為的に育成されていることから、「猿猴造り」と呼ばれています。この松は、市内に残る老樹の一つとして貴重なものです。言い伝えでは、この老松は、昔の船問屋敷の名残りで、大正時代、可部八景の一つに選ばれて以来、この名で呼ばれるようになつたそうです。

13. 亀山発電所跡

太田川を上流に向かって今井田まで行くと、洋風煉瓦造りの建物があります。これが可部の町に1912(明治45)年に初めて送電した亀山発電所です。町内の小学校教育の課外授業にも取り入れられ、1973(昭和48)年3月まで可動。地元産業の発展と暮らしを助けてきました。

現在、建物は太田川漁業協同組合が利用しています。

14. 柳瀬キャンプ場

太田川の上流に位置し、キャンプには最適。近年松枯れにより伐採され、松の木も少なくなっているが、春、夏、秋に憩の場として多くの人に利用されています。

15. 安佐北区役所

16. 安佐北区民文化センター

17. 青古墳群

6世紀後半から7世紀にかけて築造された9基の小円墳からなっています。1号、3号、4号墳はいずれも直径10m、高さ2mで、内部主体は無袖

の横穴式石室。他もほぼ同様であったと推定されます。3号墳は、石室内に花崗岩の角礫を敷詰め、墳丘の裾に大小の角礫を積上げています。須恵器、土師器、鉄刀、鉄鎌などを出土しました。4号墳の石室は奥行6m、幅1.5m、高さ1.7mと大きく、須恵器、金環などを出土。裏には原迫古墳群14基が隣接します。

18. 福王寺

大治2(1127)年開基。嵯峨天皇の御代、諸国修行中の弘法大師が、福王寺に於いて、林の中の一樹に1丈有余の不動明王像を彫られて千百有余年と言われています。立木仏として県の重要文化財の指定を受けています。昭和52年9月3日の落雷により金堂は火災に遭いましたが、その後立派に再建築されました。「五鈷の杵」、天下の名石「さざれ石」、「灯明杉」等多くの寺宝があります。

19. 南原発電所

南原発電所は、太田川の支流南原川の水をせきとめて、上池と下池の2つの貯水池をつくり、この間の落差約300mを利用して派手する純揚水式発電所です。2つの貯水池をつくるダムは、土盛りの外側に岩を積み重ねたロックフィルダム方式を採用しています。地下に建設した発電所は、最大出力62万キロワットで、1日の発電時間は、フル運転した状態で6時間発電できます。

20. 南原峡県立自然公園

総面積は925ヘクタールで、利用者は年間5万人。南原峡は、堂床山(859m)と冠山(753m)の鞍部(あんぶ)を源流とする断層渓谷で、源流一帯は高原状の広大な笹原になっています。下流には加賀津の滝や石采(いしうね)の滝、大滝などの滝や獅子岩、龍頭岩などの巨岩があります。付近には紅葉する落葉広葉樹が多く、また、シャクナゲやヤマツツジ類も自生しています。交通の便もよく、渓谷の探勝、登山、ハイキングを楽しむ人も多いです。

付. 可部の「がんす」言葉

可部と云えば、この「がんす」言葉に代表されるように、語尾に「がんす」を付けるのが特徴です。

ただ、現在はお年寄り以外に使われる方は少なくなりました。

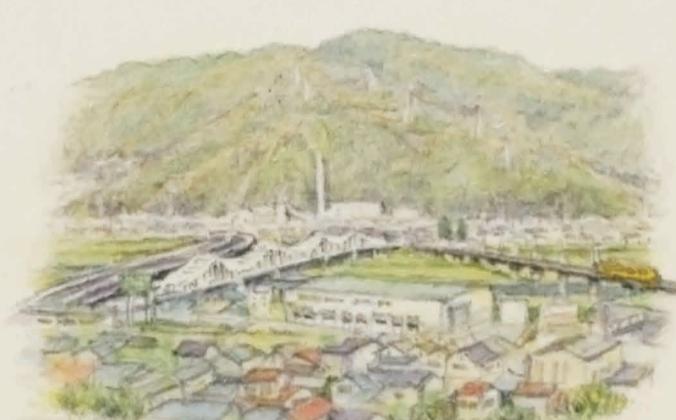
『可部の“願船坊”にやあ、聴聞が がんすか がんせんか。

がんしやあ がんす話が がんしょうが、がんせんけえ がんせんのでがんしょうてえ。』

訳：可部の「願船坊」(お寺)ではお聴聞があるのでしょうか？ないのでしょうか？あればあるという話があるのでしょうが、(話が)ないようなので(お聴聞は)ないのでしょうか。

歴史の散歩道

いっぺんおいでえ
広島安佐



太田川橋(3本の橋)



① 警鐘台の跡



③ 大禹謨
(だいゆば、太田川改修記念碑)



⑨ 多宝塔

權現山



④ 八木梅林公園



⑨ 緑井毘沙門天

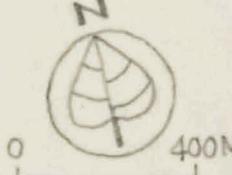
至 沼田

毘沙門台駅

安川 山陽自動車道

大町駅

アストラムライン



400M

至三次

可部駅

下左東線

① チヤップリンの秘書の
高野さん寄贈の警鐘台の跡

② 八木用水

中島駅

太田川橋

JR可部線

国道54号線

上八木駅

太田川

県道1木緑井線

梅林駅

③ 高瀬公園
高瀬大橋

⑤ 歴史的な建物(洋館)



⑧ 広島安佐商工会
(佐東支所)

歴史的な建物

⑤

⑥ 温井八幡神社
安佐大橋

川内
広島菜畑

⑦ 福島大和守の墓

⑥ 温井八幡の
乳下リイチョウ



広島菜の収穫

至 広島

1.警鐘台跡

昭和7年、喜劇俳優チャップリンの付き人で八木出身の高野虎市という人がアメリカから帰京した折、生家に立ち寄りその際寄贈したのがこの警鐘台で地区防災の役割を担っていました。

平成3年の台風19号で罹災し、今は基礎部分だけが残っています。

2.八木用水

明和5年(1768年)桑原卯之助によって作られた全長16km余の農業用水路。

八木用水が作られる前、佐東町、安古市町、祇園町は農耕用水に恵まれず、少しの日照りで水がなくなるなど、米を作るのに困っており、当時の広島藩も様々な策を試みましたがうまくいきませんでした。そこで農民の苦労を何とかできないかと考えた桑原卯之助が土地の高い上流から水を取り入れるようにすれば水が勢いよく用水路に流れると考え、工事期間わずか25日で完成させたといわれています。

3.大禹謨(だいゆう)の記念碑(高瀬公園内)

高瀬堰の完成を記念し、当時の佐東町が昭和47年(1972年)5月にこの記念碑を建てました。

碑文は中国古代(紀元前2070年頃)、治水の神といわれた夏朝の帝、禹(名は文命)の一字をもじる「大禹謨」と記名しました。

大禹謨とは“偉大な禹王の謀(はかりごと)”という意味です。

4.八木梅林と公園

八木梅林は『天長5年(828年)弘法大師が安芸の国福王寺を建立し途中、八木市土居の茶屋で休憩された折、米左衛門という茶屋の老翁が、お茶受けに進上した梅干を賞味され、八木比原の地は梅育成の好適地と教えられ、その節弘法大師の召し上がった梅の核(たね)が奇蹟的に芽を吹き、それが原木になって、梅林開設となった。』と言えられています。

その八木梅林の名を残そうと、古川区画整備事業で一区画を「八木梅林公園」として造成、平成7年に完成し現在は地域住民の憩いの場として親しまれています。

また3月の第一日曜日はここで「梅林春こい祭」が開催されています。

5.歴史的な洋風建築物

6.乳下がり銀杏(いちょう)の木

川内の温井八幡神社境内にあり、樹高24m。鍾乳石が垂れ下がるような形をした乳柱を多数下げた奇形な形をしているためこういう名が付きました。

昭和54年広島市の天然記念物に指定されました。

7.福島大和守の墓(伝承)

福島大和守の墓と伝えられている石塔で大和守を名乗るどの人物のものかは不明ですが、何基かの五輪塔の残欠と考えられています。

一節によると、「川の内警固衆」と呼ばれた水軍の将で歴代当主がこの名を名乗りました。福島氏は元武田氏の家臣でしたが、後に毛利氏に付き、弘治元年(1555年)の厳島の合戦では水軍を率いて参加しています。この付近を本拠地として勢力をもっていたらしく、江戸時代の文献「芸藩通志」には中筋の才の木神社の北側一帯に福島屋敷跡と記されており、この付近に屋敷があったものと考えられています。

8.広島安佐商工会(佐東支所)

安佐南区の佐東町商工会、安佐北区の安佐町商工会、可部町商工会が合併して、平成19年4月に設立した経済団体です。そのうち佐東支所は旧佐東町商工会区域を管轄しています。

管内で事業を営む方の相談相手として、経営指導員が配置されています。

9.緑井毘沙門天

JR可部線の緑井駅から、毘沙門天参道に至る商店街「毘沙門通り商店街」を抜けて坂道を登って行くと、毘沙門天、正確には「真言宗權現山毘沙門堂」に至ります。

現在の毘沙門天堂は1065年頃、現在地に修業僧教尊が行基菩薩の作といわれる毘沙門尊像を安置したのが始まりとされています。商売繁盛の神様としても知られ、毎年旧暦の初寅の日とその前日に「緑井毘沙門天祭」が開催されています。この初寅祭の時だけ御本尊が開帳されます。

太田川橋

広島市内から県北部を通過するために重要な橋。八木と可部を結んでいます。

以前の往来は旧太田川橋1本でしたが、現在は広島方面への通行は旧太田川橋を利用し、可部・三次方面への通行は新太田川橋を利用します。

旧太田川橋の右側には、八木から可部に向って眺めると、JR可部線の鉄橋が見え、良いロケーションとなっています。

高瀬堰

太田川の水をせきとめて下流地域を洪水から守ると共に、上水道・工業・農業への水を確保しています。また太田川の両岸を結ぶ長さ273mの橋の役割も果たしています。

広島菜

日本三大菜漬のひとつとして知られる広島菜漬。

佐東町史によると、明治の中頃川内村温井の農夫木原才次氏が京都から持ち帰った株を、在来の京菜と交配させた新種が広島菜の原点とされています。

この京菜について、江戸時代、藩主福島正則の参勤交代の折、お供の者が京都本願寺から株を持ち帰り、それが広島で広く栽培されたものだということでこちらを広島菜の始まりとする資料も残っています。

川内地区の畠は11月～12月の最盛期には一面広島菜の畠に変貌し、壯観な光景が見られます。